

## 教職開発講座 前田 康二 教授



# 小学校外国語科の教員研修プログラムの開発



キーワード 協働的研修 / 資質能力基準 / ポートフォリオ / 英語専科教員 /

### どのような研究をなぜ行っているか

タイトルのとおり、小学校の先生が外国語（英語）を教える力を高めるために有効な研修の内容や方法について研究しています。

小学校では2020年から、3年生で外国語の学習が始まり、5年生からは教科として学ぶようになっています。制度や学習内容の大きな変化に加え、DXによって学習方法も多様化しており、指導者に求められる力も変化しています。入門期の学習は特に重要で、指導する教員はたいへん大きな役割を担っていますので、小学校では研修ニーズが高まっています。このことに貢献ができればと思っています。

そのため、国内外の先行事例や文献の調査、授業での教員と児童の英語での発話ややり取りの研究等をもとに、今後日本の小学校外国語（英語）担当教員に求められる資質や能力を明らかにし、何をどこまでできるようになるのかといった到達基準や、研修の振り返りのツールとしてのポートフォリオを開発しています。また、それらを活用しながら、専科教員をはじめとする小学校の先生と外国語指導助手（ALT）がオンライン、オフラインで協働して継続的に学び合い、学びの蓄積と振り返りを行う中で、それぞれの課題と目標に応じて必要な力をつけていけるような研修プログラムの開発に、試行と検証を通して取り組んでいます。研究を通して、必要な資質能力の獲得を目的とする研修プログラムを構築する際に有効な構成要素を抽出したいと考えています。



プログラム開発に向けた取組「えいごせんかふえ」

### 研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

教育委員会等自治体や研究機関が小学校外国語教育における教員研修、とりわけ専科教員に対する研修を計画する際に指針となりうる知見を得ることを目指し研究を進めています。特に研修プログラム構築の考え方や手順、研修方法に関わっては、外国語教育にとどまらず、他の分野における教員研修、さらには様々な業種の職場におけるリスキリングを目指す研修など、教育分野以外の研修などにも活用できるよう知見の汎用化を目指します。

### これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

#### カンボジア国教員養成大学設立のための基盤構築プロジェクト（JICA）

教育大学の設立に向け、現地大学教員と協働し、英語教育に関わる教員養成カリキュラム作りに取り組んできました。

#### 奈良県小学校若手教員育成研修（奈良県立教育研究所、奈良教育大学）

採用されて2年目の先生たちが協働的、継続的に授業改善に取り組む研修システムの開発と運営に携わっています。

